



宮城県指定無形民俗文化財 切込の裸力セドリ（加美町宮崎）

旧宮崎町の切込集落に伝わる、旧暦1月15日の夜に行われる小正月の行事で、15歳以上の男子が顔や体にヘソビ（竈墨）を塗り、裸で家々を訪問し、家人にヘソビをつけ、新年の挨拶をしてから酒食のもてなしを受けます。また、初めての参加者や新婚者と厄年の者は裸の腰に注連縄を回し、頭に藁束をかぶった装束を身につけ、家々の訪問に先立って他の参加者から水を浴びせられます。

（写真：大崎地域世界農業遺産推進協議会提供、説明：宮城県文化財課ホームページより引用）